

施策評価表

1次評価日（課長等）	26年 9月 30日
2次評価日（部長等）	26年 10月 1日

1 施策の概要

施策名	生活安全対策の推進	コード	9-3
この施策の主な内容（細施策）	①交通安全思想の普及、②防犯対策の推進、③空き家の安全対策、④消費者保護の推進		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	生活安全、安心の政策を推進し、住みよい地域社会の実現を目指す。		
担当部課	部 市民環境部	課等 市民生活課	作成者 林 直典

●施策の実施内容（D0）

2 施策指標の達成状況

*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 交通事故人身事故発生件数	件	274	226	272	238	87.5%	243	242
指標説明	事故件数の減少は、交通安全教育、交通安全啓発活動による交通安全意識の向上を表す。目標値は、過去5年間の人身事故平均数							
② 刑法犯罪の年間発生件数	件	335	293	320	279	87.2%	279	279
指標説明	件数の減少は、防犯対策の効果を表す。目標値は、岡谷警察署の値を使用。							
③						#DIV/0!		
指標説明								

3 施策全体にかかる合計コストの推移

*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	30,019	26,480	24,109	25,524
人件費	15,520	15,520	15,520	15,520
合計コスト	45,539	42,000	39,629	41,044

●施策の評価（CHECK）

4 施策の現状評価

*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

○交通安全思想の普及については、無事故無違反デー（MMD）の交通パトロールや街頭啓発、また交通安全教室などの啓発活動を警察署や交通安全協会等と連携を図り実施したが、交通事故人身事故件数は増加した。
 ○防犯対策の推進については、安全会議の防犯部会の各団体や警察署との連携による啓発（青色パトロール・振込め詐欺防止活動など）や防犯灯のLED化の促進を行った。その成果として、管内の刑法犯罪は減少した。

*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	官民一体の組織である岡谷市安全会議があり、この交通安全部会、防犯部会等との連携により、効果的な啓発活動が実施できる。
岡谷市の弱み	高齢化が進むことにより、高齢者が事故や事件に遭う危険度が増す。

5 今後の外部環境の変化

*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	特になし。
不利に働くもの	特になし。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	○交通事故防止については、市民一人一人が交通安全意識とモラルを高めていくことが重要であり、警察・交通安全協会など関係機関、関係団体と連携を図りながら、街頭指導、交通パトロールなど啓発活動を継続して行う。 ○防犯灯については、夜間の犯罪防止や歩行安全に大きな効果があるため、引き続き電気料負担と設置補助を実施して行くとともに、効率的なLED化促進に努める。 ○消費者行政事業については、複雑化、多様化する消費者問題に、消費者団体等と連携を図りながら継続した啓発活動を行うとともに総合相談窓口（消費生活相談）の充実に努める。
見直しを行う分野	特になし。

●27年度の優先度

* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標				妥当性	方向性	優先度
							直接事業費		人件費				
							23年度	24年度	23年度	24年度			
							25年度	26年度	25年度	26年度			
							26年度	26年度	26年度	26年度			
1		一般	あり	交通安全対策推進事業	交通安全教室参加者数	人	6,345	4,150	4,240	高い	継続して実施	B：現状維持	
							4,821	4,245	4,240				
							4,470	4,227	4,240				
							5,000	4,285	4,240				
2		一般	あり	交通災害共済事業	加入率	%	58	1,838	4,560	高い	継続して実施	B：現状維持	
							58	1,779	4,560				
							56	1,672	4,560				
							57	1,960	4,560				
3		一般	あり	安全会議事業	会議、大会等の出席者	人	650	3,309	1,360	高い	継続して実施	B：現状維持	
							450	2,824	1,360				
							430	2,676	1,360				
							500	2,804	1,360				
4		一般	あり	防犯団体支援事業	総会、会議出席回数	回	6	13,213	1,440	高い	継続して実施	B：現状維持	
							6	14,449	1,440				
							7	15,169	1,440				
							6	16,075	1,440				
5		一般	あり	消費者行政事業	講演会参加者数	人	80	7,509	3,920	高い	継続して実施	B：現状維持	
							40	3,183	3,920				
							12	365	3,920				
							80	400	3,920				
6													
7													
8													
9													
10													